

第 43 期第 2 回理事会議事録

日 時：2024 年 6 月 24 日（月）10 時 00 分～12 時 35 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議方式）

出席理事：青柳曉典, 阿部彩子, 荒川知子, 稲津將, 猪上華子, 今田由紀子, 江口菜穂, 榎本剛,
佐藤正樹, 笹川悠, 杉本志織, 竹見哲也, 竹村俊彦, 立花義裕, 中村尚, 原田やよい,
早坂忠裕, 堀之内武, 三好建正 以上 19 名

欠席理事：渡部雅浩

出席監事：川瀬宏明

欠席監事：吉田聡

その他の出席者：勝山税, 福本昌史, 萬納寺信崇（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入について

新入会員 91, 退会 21 を全会一致で承認した。2024 年 6 月 18 日現在, 会員数 3, 368 名で個人会員は 3, 176 名。

2) 第 43 期第 1 回理事会議事録の確認

議事録案について, 全会一致で承認した。

3) 2024 年度社員総会議事録の確認

議事録案について, 全会一致で承認した。

4) 大会実施形態の移行に関する WG の設置

第 42 期で提出された大会のあり方の検討報告を受け, 第 43 期では企画調整委員会の下, 大会実施形態や方式の移行を具体化するためのワーキンググループ (WG) の設置提案があり, 全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) 業務執行理事からの報告

① 「庶務」庶務報告(第 2 回)・・・以下の内容が報告された。

・ 掲載許可 (1 件)

1) 申請者：新井涼允 (電力中央研究所)

【転載元】

(1) 津口裕茂, 加藤輝之, 2014: 集中豪雨事例の客観的な抽出とその特性・特徴に関する統計解析. 天気, 61, 455-469. 転載する図：第 5 図

(2) 加藤輝之, 2014: アメダス 3 時間積算降水量でみた集中豪雨事例発生頻度の過去 45 年間の経年変化. 天気, 69, 247-252. 転載する図：第 1 図

- (3) 釜堀弘隆, 荒川理, 2017: 日本における台風降水量の分布. 日本気象学会 2017 年春季大会講演予稿集, A309, 237. 転載する図: 第 2 図
- (4) Kato, T, 2020: Quasi-stationary band-shaped precipitation systems, named “senjo-kousuitai”, causing localized heavy rainfall in Japan. J. Meteor. Soc. Japan, 98, 485-509. 転載する図: Table 1, fig.5
- (5) 山田将喜, 釜江洋一, 2022: 日本で発生する相対的に強い降水に占める大気の川事例の割合. 天気, 69, 609-619 転載する図: 第 4 図

【転載先】

「近年の台風及び豪雨を踏まえた水力発電設備保守運用技術に関する調査報告書」「土木学会 エネルギー委員会 新技術・エネルギー小委員会 近年の台風及び豪雨を踏まえた水力発電設備保守運用技術に関する調査・研究分科会」編

- ・ 後援名義等使用依頼受付 (後援: 2 件, 協賛: 6 件)
- 1) 名称: 宇宙から雨を読み解く: 全球降水観測計画 (GPM) の 10 年と将来の降水観測に向けて
主催: 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
期日: 2024 年 7 月 19 日
会場: 丸ビルホール (東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビル 7 階)
名義: 後援
- 2) 名称: 日本機械学会 第 37 回計算力学講演会 (CMD2024)
主催: 一般社団法人 日本機械学会
期日: 2024 年 10 月 18~20 日
会場: トークネットホール仙台 (宮城県仙台市)
名義: 協賛
- 3) 名称: 第 42 回レーザーセンシングシンポジウム
主催: 一般社団法人レーザーセンシング学会
期日: 2024 年 9 月 12~13 日
会場: 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール (大阪市)
名義: 協賛
- 4) 名称: MU レーダー40周年記念国際シンポジウム
主催: 京都大学生存圏研究所
期日: 2024 年 11月18~21 日
会場: 京都大学宇治キャンパス
名義: 後援
- 5) 名称: No. 24-52 流体力学基礎講座 –基礎学理から数値流体力学・流体計

測の基礎と実例まで一

主催：一般社団法人日本機械学会 流体工学部門

期日：2024年6月20日～21日

会場：Zoomを利用したオンライン開催

名義：協賛

- 6) 名称：No.24-59 講習会「CDF(Computational Fluid Dynamics)の基礎とノウハウ」

主催：一般社団法人日本機械学会 流体工学部門

期日：2024年7月11日

会場：Zoomを利用したオンライン開催

名義：協賛

- 7) 名称：日本流体力学会 第38回数値流体力学シンポジウム

主催：一般社団法人日本流体力学会

期日：2024年12月11～13日

会場：東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

名義：協賛

- 8) 名称：2024年度国際地学オリンピック

主催：特定非営利活動法人 地学オリンピック日本委員会

期日：2024年8月

会場：中国・北京, 国内選抜

名義：協賛

- ・ 寄附者リスト（2024.3.29～2024.6.21）

- 1) 一般寄附金

竹村和人 50,000円

- 2) 特定寄附金「気象夏の学校開催支援寄附金」

榎本 剛, 川瀬宏明, 神山 翼, 佐藤 薫, 高田久美子, 高野雄紀, 橋田俊彦, 勝山 税, 名前非公表を希望（4名）, 以上12名 合計356,000円

- ② 会計担当執行理事・・・以下の内容が報告, 議論された.

- ・ 2024年3,4,5月分の現預金検査
- ・ 流動資金(運転資金)の月ごとの推移
- ・ 今年開催する第36回夏期特別セミナー(気象夏の学校)について, 会場使用料等不足する分の補助金及び特定寄付金で支援することについて, 全会一致で承認した. なお, 気象夏の学校に係る特定寄付金については, 引き続き今後概ね5年間の支援を想定し, 2024年9月末まで募集する.
- ・ 2024年度秋季大会に関して, 大会実行委員からの必要経費の見積もりに基づく交付金増額について, 全会一致で承認した.

- ・ 2025 年度秋季大会開に関して、「大会のあり方に関する検討 WG 最終報告」に沿ったハイブリッド開催、ポスター会場の確保等のため必要となる経費について本部で確保することについて、全会一致で承認した。同大会開催に向けて引き続き必要経費精査等を行う。
- ・ 第 15 回気象学史研究連絡会（2024 年 5 月 18 日（土））の Zoom 利用料について、全会一致で承認した。

2) 委員会報告

- ① 企画調整・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 大会実施形態等について今後具体的に検討していく。
- ② 講演企画・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 2024 年度春季大会 参加者数約 537 名（コロナ渦以前は約 700 名）。講演数は減少気味。
 - ・ 2024 年度秋季大会 講演申し込みは 6 月 12 日～7 月 17 日 15 時。ポスター発表についてはコロナ渦後はじめて対面形式とすることもあり増加傾向、逆に口頭発表が減少するか様子見。
- ③ 天気編集・・・以下の内容が報告された。
 - ・ Vol. 71 No. 4, 5, 6（2024 年 4, 5, 6 月）の掲載目次と、Vol. 71 No. 7, 8（2024 年 7, 8 月）の目次予定。
- ④ 気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

Vol 102 No. 3（2024 年 6 月）の掲載目次と、Vol 102 No. 4（2024 年 8 月）の掲載予定目次。審査中の論文リスト。

JMSJ について、Springer Nature 社との契約書案が示され、軽微な文言の変更を委員会に一任し、理事長が署名すること。
- ⑤ 「SOLA 編集」・・・以下の内容が報告された。

Vol. 20 のこれまでの掲載予定リスト。

SOLA について、Springer Nature 社との契約書案が示され、軽微な文言の変更を委員会に一任し、理事長が署名すること。
- ⑥ 表彰関連・・・以下の内容が報告・議論された。
 - ・ 藤原賞候補者推薦委員会から、2024 年度の候補者について報告され、審議が行われた。推薦時点で故人となっている候補は対象外とすることを確認した。また今後、藤原賞に限らず、推薦時に存命しているべきという慣例があれば明文化を検討するのが望ましいとの意見があった。
 - ・ 堀内賞候補者推薦委員会から、2024 年度の候補者について報告され、審議が行われた。改めて報告・議論する。
 - ・ 山本賞について、候補者文案を追って共有し、次回理事会等で議論する。
 - ・ 小倉奨励賞候補者推薦委員会から、2024 年度の候補者について報告があった。

改めて報告・議論する.

- ・ 松野賞候補者推薦委員会から, 2024 年度春季大会での受賞者について決定したとの報告があった.

⑦ 名誉会員推薦・・・以下の報告がされた.

- ・ 2024 年度総会で決定報告した. 今後もふさわしい候補者がいれば議論し, 決定する.

⑧ 学術・・・以下の報告がされた.

- ・ 4 月 30 日に学術委員会を開催.
 - ・ IAMAS 小委員会のあり方について日本学術会議で議論している.
 - ・ 日本の気象学の現状の展望 2024 について「天気」へ3月に投稿した. 現在天気編集委員の確認中.
 - ・ 「航空機観測部会」, 「地球観測衛星部会」, 「放射能汚染部会」, 「データ利用部会」から活動報告がされた. 各部会の活動を継続する.

⑨ 教育と普及・・・以下の内容が報告された.

- ・ 2024 年度第 1 回気象サイエンスカフェ東京 (5/19) を実施. 今後 2024 年度第 2 回気象サイエンスカフェ東京 (8/25) を予定. ジュニアセッション (5/25), 女子中高生夏の学校・JpGU (5/26) の実施報告及び夏期大学 (7/27~28) を予定.

⑩ 広報・・・以下の内容が報告された.

- ・ 理事会メーリングリストを作成した. 各委員メーリングリストは委員会で更新可能.

3) 理事長報告

- ① JpGU2024 学協会セッションにおいて, 気象学会共催は 20 あった.
- ② 科研費増額に関する要望書の内容を確認し, 同要望書に気象学会も同意する. 同意することで, 要望書に気象学会の名称も列挙されることを確認した.

以上について, 議事録を作成し, 理事長および監事が記名押印する.

2024 年 8 月 9 日

公益社団法人日本気象学会

理事長 竹見哲也

監 事 川瀬宏明